

(様式1)

令和3年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

学校整理番号	5
学校名	青森県立青森北高等学校
全日制の課程	校舎

自己評価実施日	令和3年12月17日(金)
学校関係者評価実施日	令和4年2月8日(火)

(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成
学校評議員(学校関係者評価委員を兼ねる) 4名 学校関係者評価委員 4名 計4名

(1) 学校教育目標	①校訓の「自治」・「協和」・「日進」を中核に据え、文武両道に励みながら、社会の発展に寄与し得る、実践力に富む個性豊かな人間を育成する ②自主・自律の精神に富み、責任を重んじ、協調性を身につけた人間を育成する ③進んで真理を探究し、創造的な思考力に溢れ、理性的で公正な判断力を持ち、社会に貢献できる人間を育成する ④たゆまぬ向学心と強靱な体力及び精神力を持ち、進んで文武両道に励む人間を育成する ⑤心豊かでたくましく、他者を思いやる心を持った、道徳性の高い人間を育成する ⑥ボランティア精神に富み、地域の諸活動に積極的に参加・協力する生徒を育成する
------------	--

(2) 現状と課題	「文武両道」を学校経営の基本に掲げ、地域に信頼される学校作りのために、学習指導、生徒指導、進路指導及び部活動指導等において、保護者の理解を得ながら取り組み、着実に成果を上げてきている。生徒は概ね素直でよく努力はしているが、教員主導に負う部分が多いのが現状である。学校教育目標の達成に向けて、教職員の連携を密にして、実効性のある教育活動を展開することによって本校の魅力作りに力を入れるとともに、その成果を積極的に発信することによって、家庭や地域等に信頼される学校を目指していかなくてはならない。
-----------	--

(3) 重点目標	1 学習指導の充実
	2 生徒指導の充実
	3 進路指導の充実
	4 学校運営の充実

(4) 結果の公表	学校ホームページで公表する。
-----------	----------------

自 己 評 価				学校関係者評価		(10) 次年度への課題と改善策
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	学習指導の充実	①基本的な学習姿勢の確立と家庭学習の充実 ②学習指導体制の構築と授業力の向上 ③魅力ある学校作りの推進	①けじめある態度で授業に臨めるよう号令指導を実施した。昼休みの後は予鈴着席が守られていないことがあるので、さらに指導を徹底していく。各学年では学習記録を活用して、自ら学ぶ姿勢を確立させようとしているが、家庭学習への取り組みはやや不十分であった。 ②教材研究、授業公開や互見授業、研修参加、生徒による授業評価等により、授業力向上を図った。各行事に合わせて特別時間割を作成し、授業時間確保に努めた。感染症対策で出席停止になっている生徒に対して、Zoomによる遠隔授業の実施を支援した。Google Workspaceに関する校内研修を2回実施し、授業におけるICT活用を推進した。また、観点別評価に関する研修会を実施した。 ③新学習指導要領の趣旨と学校の特色を踏まえた教育課程を作成した。	B	・生徒による授業アンケート結果によると、家庭学習に関する自己評価がやや不十分という結果が気になる。 ・北高でないと体験できない特色が必要になってくのではないかと。入学希望生徒が増えるような目標が必要である。 ・企業も国からの指導でテレワークを推進している。コロナ禍に関わらず、ICTの活用のための環境はこれからも整えていってほしい。課題や問題点を探って将来に生かしてほしい。 ・来年の新教育課程に向けて頑張っていきたい。	引き続き「分かる授業」「生徒の資質・能力を高める授業」を目指し、授業改善に取り組む。また、順次タブレットが導入されるので、ICT教育の環境を整備しながら、生徒が興味関心を持ち、意欲的に学習できる環境を整え、ICTを用いた授業力向上に努めていく。 新学習指導要領の完全実施に向けて、教育課程の見直しと総合的な探究の時間の充実に取り組んでいく。 学校の魅力を磨き、積極的に情報発信することで、「入りたい高校」づくりに取り組んでいく。

2	生徒指導の充実	<p>①基本的な生活習慣の定着</p> <p>②いじめ問題や不登校への適切な対応</p> <p>③校内外の安全指導の徹底</p> <p>④教育相談の充実</p> <p>⑤感染症への対応の徹底</p>	<p>①服装頭髪面では、概ね良好であったが、安易な遅刻が増えた。スマートフォンの使用状況に関しては、概ね良好だが、1年生の使用方にやや問題があった。</p> <p>②いじめの認知件数が昨年度より減少している。早期対応・組織的対応ができており、校内研修会においてもいじめ防止対策について共通理解を図った。</p> <p>③交通安全教室を学年別に実施、交通事故防に努めた。また、防災避難訓練については計画的に実施できた。</p> <p>④「アセス」を2回実施し、生徒の学校適応感を基に生徒理解に努めた。教育相談に関する校内体制を充実させ、スクールカウンセラー等の専門機関との連携をとりながら、多くの生徒の支援ができた。</p> <p>⑤感染症対策については、県教委からの通知をもとに教職員、生徒保護者に情報提供するとともに、対策に努めた。</p>	B	<p>・地域と学校の関わりという点では、例年行われている行事のほとんどが自粛、中止となった。唯一かかし作りは野外での活動ということで実施できた。コロナが収束したらまた様々な活動を共にしていきたい。</p> <p>・スポーツも進学もよい結果を残せる生徒を育ててほしい。地域の人間として応援していく。</p> <p>・コロナ禍による学校行事の中止、学習機会の減少等、環境変化による生徒の心理的な面でのサポートが必要。</p> <p>・予測困難な社会になっているからこそ、生徒に「生きる力」が身につくよう指導してほしい。</p>	<p>複雑で多様化した問題を抱える生徒に対して、教職員と専門性を持つ職員や関係機関等が円滑にコミュニケーションを取りながら、組織的に対応する体制をさらに充実させていく。</p> <p>地域交流やボランティア等の活動の機会を積極的に紹介し生徒の主体的な活動と成長を促していく。</p> <p>コロナ禍で教育活動に制限がかかり、学習面や部活動等課外活動で支障をきたしているの、感染症対策を徹底していく。</p>
3	進路指導の充実	<p>①キャリア教育の推進</p> <p>②進学指導</p> <p>③就職指導</p>	<p>①弘前大学をはじめ、多くのオープンキャンパスや講演会がリモートでの開催となり、制限の中で実施したが、希望者の多い医療・福祉系の就業体験企画実施した。また、高校生スキルアップ講座の受講を通して、多くの生徒が認定証を受領した。</p> <p>②放課後や長期休業中の講習等、多くの機会を捉えて学力向上を図った。学習合宿はコロナ禍の影響で中止としたが、1年生は学習会を実施し、上級学校への進学意識に醸成に努めた。また、保護者対象の進路講演会も実施できた。</p> <p>③就職志望生徒に対する講演会およびガイダンスを行った。民間就職支援講座や公務員対策学内講座等の内容を充実させた。</p>	A	<p>・文武両道の成果がしっかりと出されている。指導の方向性が生徒に伝わっているように感じる。それが進路や部活動の成績に反映されている。心折れる状況下でありながら、教師生徒一丸となって結果を出したことが素晴らしい。</p> <p>・保護者との連携が取れている実感がある。アンケートでもきちんと評価されているように感じられた。多くの問題は家庭との連携が解決の糸口となるものだが、しっかりとされているようだ。先生方に敬意を評したい。</p>	<p>大学入試制度に関する情報収集に努めると共に、生徒が自主的に進路探究に取り組める環境の一層の充実を図る。</p> <p>総合型選抜、学校推薦型選抜に対応するために小論文指導や面接指導に早い時期から取り組み、コミュニケーションスキルの向上に対しても学校全体で早期から対策をし、生徒一人一人の志望達成に向けた力を高めていく。</p> <p>進路に関する様々な情報を、進路通信や保護者研修等を通して、発信していく。</p>
4	学校運営の充実	<p>①文武両道の実現</p> <p>②積極的な情報発信</p> <p>③創立80周年に係る各種事業の実践</p>	<p>①生徒一人ひとりが学習と部活動等に主体的に取り組めるよう家庭及び教職員間で連携を密にし、教育活動を展開した。また、部活動を通じた生徒指導を推し進め、活力と規律ある学校づくりに努めた。</p> <p>②中学生の体験入学や、スポーツ科学科の体験授業をYoutube等で配信し、本校の教育活動の広報に力を入れた。学校行事や生徒の活動状況等を積極的にホームページに掲載し、進路通信等を定期的に発行するなど、情報発信に努めた。</p> <p>③創立80周年記念事業に関わる記念式典、記念講演、記念誌発行、文化展に開催等、全校あげて取り組んだ。</p>	A	<p>・コロナ禍の中、いろいろな工夫をされて取り組んでいることに感謝する。</p> <p>・教科学習以外の学習の場の充実に取り組んでほしい。学び続ける姿勢、自己肯定感、青森県民としての誇り、郷土愛を育むことにつながる。</p>	<p>部活動において積極的な参加を促し、全国大会で活躍できるよう、活動の活性化を図る。</p> <p>スポーツに造詣の深い専門家を招聘し、知己を得る。</p> <p>コロナ禍で部活動が制限されているので、感染対策を怠ることなく、活動時間の確保に努める。</p> <p>青森北高校の魅力を地域に積極的に発信していく。</p>

(11) 総括	<p>今年度の結果を踏まえ、「文武両道」を基本とし、地域に信頼される学校づくりのために取り組むべき課題は、①「分かる授業」「資質・能力を高める授業」の実践。②学校の魅力作りと積極的な発信。③社会と連携・協働した生徒指導体制の充実。④主体的に進路探究をできる環境の充実と支援体制の強化。以上の4点である。今後も、全教職員の共通理解と、保護者との信頼関係を大切にしていって行く。</p>
---------	---